



森の息吹

No.176 5月号
2021 4月26日発行
編集代表：五賀利雄
0133-26-3738

シイタケの菌うち & 「弁華別協働の森の会」総会

コロナ渦の中で、緊急事態宣言も出されている地域もあります。今後の活動は状況を見ながら進めていく事になります。活動に際しては十分な感染予防対策を皆様をお願いいたします。

4月の活動報告

4月17日(土) シイタケ原木に植菌作業 天候 小雨 参加者 14名

道民の森管理事務所のイベントヘルプ作業として恒例のシイタケの菌うち作業を行いました。ミズナラの原木 40 本ほどに専用ドリルで等間隔に



穴あけをし、シイタケ菌のコマを木づちで打ち込んでいきました。手慣れた作業で1時間足らずで終了し各自1本ずつ楯木を頂きました。山田倉庫のシラカンパのシイタケ原木は遮光シートを被せる事にしました。



4月18日(日) 「弁華別協働の森の会」令和3年度総会 天候 晴れ 参加者 12名

西当別コミュニケーションセンターにて協働の森総会が開催されシラカンパより12名が参加しました会長の挨拶後に令和2年度の事業報告、会計収支報告ならびに令和3年度の事業計画、予算の報告がありました。総会は成立し2時間程度で終了となりました。

5月9日(日)

内容 弁華別協働の森の会「モニタリングサイト」での現地検討会

今年度のモニタリングサイトにて除伐木の選定方法と伐採方法についての検討

集合場所と時間 山田氏倉庫前 8:45 協働の森、農地跡地前に9:00～ 午前中で終了

持ち物 手のこ・枝切り用チェーンソー・刈払い機 飲み物

5月23日(日)

内容「140年の森」下草刈りと補植 山菜観察

山田山林での作業(内容は要検討)

集合場所と時間 山田氏倉庫前 9:00

持ち物 腰道具・手のこ・刈払い機・手袋 弁当・飲み物

※コープさっぽろの5月の行事は延期となりました。

5月の活動案内



編集者より

4月中旬に近くの田んぼにタンチョウが飛来しているのを見かけました。

幼鳥2羽が落穂(たぶん)をついばんでいました。(驚)

最近、長沼町では100年ぶりにタンチョウのヒナが誕生しました。

ウトナイ湖周辺でも繁殖が確認されています。

いわゆる餌事情によるものでしょうか。道東から範囲を広げつつあります

将来的に当別町でも普通にみられる日が来ると良いのですが…。



山田 惣次郎(初代 明治11年生)三代次(2代 明治37年生) 誼(3代 昭和4年生) 正志(4代 昭和30年生)と続きます

惣次郎(初代)は、上野から山田家へ養子となり(明治15年春5歳頃)(渡道15歳明治25年山田家の入植先の調査に当別町東小川近藤角次郎宅に1年間奉公、明治26年8月一家渡道)

出身地 新潟県中蒲原郡沼垂町 (現在新潟市 ?)

総本家 山田四郎次(入婿)とノセ(叔母) 家 養子 3人を迎える。

後妻(ノセの死去により もよ)

- ① 子三郎(後妻の子) ② 惣次郎(先祖) ③ 又 一

山田家の由来

寛永か明治の初期と、思われる。新潟県中蒲原郡沼垂町大字沼垂1289番地で、山田吉之十ノセ夫婦が農業を営んでいたが、吉之十は、船の事故で死亡した。

長谷川 4男 四郎次、が入婿(明治14年11月25日)農業の傍ら米穀商を営み、本人の浪費癖も有り、忽ち莫大な負債を背負い、その為、北海道で一旗上げようと、夜逃げ同然に渡道(現当別町茂平沢)に移る。

ノセ夫婦は子供に恵まれず、惣次郎(先祖)をノセ(叔母)が相続する約束で養子になったのであるが、その他に、子三郎、又一も養子にしていたのである。

結果的には本家を継げず弁華別に分家として営農に励む傍ら本家の負債返済に当たったのである。(耕作地担保、負債の保証人)借金返済が完了したのは、昭和13年頃であったと言う。

祖父惣次郎(先祖)から三代次(2代)が教訓として受ける。

1 勤労を旨とすべし。2 生活は質素を旨とすべし。3 常に勤勉であれ。

4 人に騙されても、人を騙すことはするな。5 子孫繁栄のためがむしゃらであれ。

山林育成の経過、惣次郎(初代)は、本家の負債返済で喰うや喰わずの生活を余儀なくされ子孫に金、財産を残す事が出来ない山に植林すれば50年後～100年後、樹木は成長し財産となるとの考えから始めた。

三代次(2代)、誼(3代)とそれが受け継がれてきたのが現在の山林である。

この間2代目3代目の兄弟は植林、間伐等に係わったのである。

この話は、ちょうど2代目 山田 三代次がなくなる手記をみた兄弟が、少し前 アメリカの映画{ルーツ}が大ヒットしたのをヒントに過去帳・新潟の役場を訪れて調べたものを本にまとめたものを抜粋したものです。

現在は、新潟市辺りらしいのですが不明です。

また、現在では個人情報保護の観点からこのような調査は不可能でしょう

現在建っている家(50年以上前)は、森林組合が当別駅の裏(現ローソン)あたりにあり製材工場も併設されていたので自分の山から切り出した木を製材工場に持ち込み父・母も作業を手伝い建材として使用されたものと聞いています。当時はよくあることだそうです。



2018年の画像です